

令和 6 年度 晃宝小学校 学校評価書

※ 網掛けのない部分が評価計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童像含む）

「豊かな心と健やかな体を持ち，創造的に考え，自らの向上とよりよい社会の発展を目指し，たくましく生きぬく人間」の育成を図る。

子ども像： 進んで学ぶ子 がまん強くやりぬく子 仲良く協力する子

合言葉： 晃宝っ子 やる気（知） 根気（体） 思いやり（徳）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「人間尊重の教育」を基調とし，豊かな心を持ち，知・体・徳の調和のとれた，持続可能な社会の創り手として，生涯にわたってたくましく成長し続けられる人間の育成を図る。

「地域が学校～地域に学び，地域とともに伸びる晃宝小学校」を目指し，児童・保護者・地域の想いを生かして，全職員参加型の学校経営を展開することにより，児童にとって「明日も来なくなる楽しい学校」を目指して，「学びや笑顔のある学校」「仲間のいる学校」「活力のある楽しい学校」「安心・安全の学校」の具現化を図る。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

- (1) 晃宝小学校の歴史と伝統を踏まえ，長年にわたって築いた教育の精神や校風を継承し，時代の変化も機敏に捉えながら，その向上と発展に努める。
- (2) 持続可能な社会の担い手を育成するために，めざす子ども像を共有し，家庭・地域社会とのさらなる連携を強化し，地域とともにある学校づくりに努める。
- (3) 学校教育における「学習活動」と「児童指導」の基盤となる学級経営を重視し，学びに向かう集団（学級）づくりをめざして，主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
- (4) 目標に向かって挑戦するたくましさ，規範意識や思いやりの心を育み，これからの時代を生きる児童に必要な資質能力である自己肯定感の高い子どもを育成する。
- (5) 進んで運動に取り組み，自身の変容や成長に気付き，生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送ることができる子どもを育成する。
- (6) 教育公務員としての使命を自覚し，和と協働の精神を大切にして，専門職にふさわしい資質・能力の向上のため学び続け，愛情と情熱と使命感にあふれ，常に児童と向き合える教職員をめざす。
- (7) 分掌組織の平準化，チームでの仕事分担，教職員各自のタイムマネジメント力の向上，意識改革や業務改善に取り組む等により，「学校における働き方改革」を進めていく。

【国本地域学校園教育ビジョン】

自ら学び 心豊かで 元気な国本っ子 ～地域とともにある学校をめざして～

4 教育課程編成の方針

- (1) 各種教育法規や県及び市の指導方針の下，本校教育目標達成のための経営方針並びに前年度学校評価の課題等を踏まえて，本校教育の特色を具現化できるように編成する。
- (2) 習得知識を教科横断的に既存の知識と関連付け，深く理解し，生きて働く「知識及び技能」の使い方を習得させる。その上で，未知への対応力の基礎「思考力，判断力，表現力等」，学びを人生に生かす「学びに向かう力，人間性等」を含めた「資質・能力」の育成に努める。

5 今年度の重点目標（短期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学習指導】

- 基礎・基本の確実な定着 ○主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善 ○学びが実感できる楽しい授業
 ○学校図書館教育の充実 ○体験的学習・地域の力を取り入れた教育の充実 ○個別最適な学びの環境づくり
 ○1人1台端末などのデジタル機器の効果的な活用 ○言語能力や情報活用能力の育成

【体力向上】

- 健康と体力の保持増進 ○安全教育の推進 ○運動する環境づくり ○食育教育の充実 ○教科体育の指導の充実
 ○休み時間時の外あそび推奨 ○家庭と連携しての基本的生活習慣指導 ○自己肯定感を高めることによるやり抜く態度の育成

【豊かな心づくり】

○道徳教育・心の教育の充実 ○特別活動の充実 ○特別支援教育の充実 ○人権教育の充実 ○教室内・校内の環境整備
 ○いじめを生まない指導・支援の充実 ○異学年の交流（GFT 活動）の充実

6 自己評価 A1～A20は市共通評価指標 B1～は学校評価指標（小・中学校共通，地域学校園共通を含む）

※「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は，文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

第2次宇都宮市学校教育推進計画後期計画基本施策	評価項目	な具体的な取組	方向性	評 価												
1ー（1） 確かな学力を育む教育の推進	A 1 児童は、他者と協力したり、必要な情報を集めたりして考えるなど、主体的に学習に取り組んでいる。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① 学習活動に課題解決型の活動を意図的に取り入れる工夫をする。自分の考えをもとに友達と話し合うなど場面を多く取り入れる。 ② 課題解決に必要な情報を集める経験を重ねるため、図書資料や1人1台端末を利用する学習活動を取り入れていく。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.4</td><td>90.3</td><td>+0.9</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・主体的・対話的な深い学びにつながる課題解決型の授業が展開できるように授業改善に努める。 ・図書資料や1人1台端末等を有効に活用できるように職員研修の充実に努め、実践につなげる。		R5	R6	比較	児童	89.4	90.3	+0.9				
	R5	R6	比較													
児童	89.4	90.3	+0.9													
1ー（2） 豊かな心を育む教育の推進	A 2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 〈児童・教職員アンケート 85%〉	① 教育目標の合言葉「やる気 根気 思いやり」のもと、道徳や各教科の他、教育活動全般において、「思いやり」の心を育む教材での指導の充実を図る。 ② 縦割り班活動（GFT 活動）の一層の活性化により、児童同士が互いを大切に、認め合う態度を育む。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr><tr><td>児童</td><td>89.8</td><td>91.7</td><td>+1.9</td></tr><tr><td>教職員</td><td>87.5</td><td>94.3</td><td>+6.8</td></tr></table> 十分達成している 【次年度の方針】 ・ふわふわ言葉キャンペーンや人権週間等、運営委員が中心となって言語環境を整える活動の成果が見られた。引き続き、様々な活動を通して、人権意識を高め、思いやりの心を育む指導を継続していく。		R5	R6	比較	児童	89.8	91.7	+1.9	教職員	87.5	94.3	+6.8
	R5	R6	比較													
児童	89.8	91.7	+1.9													
教職員	87.5	94.3	+6.8													
	A 3 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① 教育目標の合言葉「やる気 根気 思いやり」のもと、目標をもって活動に取り組める場面をより多く設定し、粘り強い取り組みによって児童が達成感を得られるように支援する。 ② 心の「たくましさ」の涵養に向け、やり抜く心や折れない心を育成する体験活動等の一層の充実を図る。	B	【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr><tr><td>児童</td><td>83.6</td><td>88.0</td><td>+4.4</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・進級や学期の切替などの節目に合わせたワークシートやキャリアパスポートなどで目標を設定し、家庭と学校で連携を図りながら保護者と教員が一丸となり、共通の方向性で継続指導していく。		R5	R6	比較	児童	83.6	88.0	+4.4				
	R5	R6	比較													
児童	83.6	88.0	+4.4													

1- (3) 健康で安全な生活を実現する力を育む教育の推進	A 4 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 〈児童・保護者アンケート 80%〉	① 校内外での生活において、安全に行動しようという意識を高めるよう、様々な機会をとらえて、発達段階に応じた指導を行う。 ② 保健だよりや食育だよりの発行や、定期健康診断、給食週間やお弁当の日の実施等を通して、家庭の健康や食に対する意識が高まるよう啓発を行う。	【達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td><td>90.9</td><td>90.9</td><td>0</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>90.2</td><td>83.0</td><td>-7.2</td></tr> </tbody> </table> 【次年度の方針】 ・廊下の歩き方など、校内での安全な過ごし方が身に付くように、委員会活動等を活用しながら、児童自ら安全について考えたり取り組んだりする機会を充実させる。 ・各種便りや保護者との懇談においても、児童の成長について伝え、家庭との連携を深めていく。また、生活習慣チェックカードやお弁当カードを通して、食事や健康について保護者と児童の関心を引き続き高めていく。		R5	R6	比較	児童	90.9	90.9	0	保護者	90.2	83.0	-7.2
	R5	R6	比較												
児童	90.9	90.9	0												
保護者	90.2	83.0	-7.2												
1- (4) 将来への希望と協働する力を育む教育の推進	A 5 児童は、自分のよさや成長を実感し、協力して生活をよりよくしようとしている。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① 学校生活の様々な場面でお互いのよさを認め合うことができるような機会を意図的に設定する。 ② グループ活動で、協力して課題解決をしていくような場面設定を工夫する。	【達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td><td>88.4</td><td>89.3</td><td>+0.9</td></tr> </tbody> </table> 【次年度の方針】 ・授業の振り返りの場を設定し、互いのよさを認め合えるような機会を充実させていく。また、今後も ICT 機器などを積極的に活用し、グループ活動で協力して課題解決していくような場を作る。 ・児童が活躍できる場を意図的に設定し、自己有用感が育まれるような働きかけを行う。		R5	R6	比較	児童	88.4	89.3	+0.9				
	R5	R6	比較												
児童	88.4	89.3	+0.9												
2- (1) グローバル社会に主体的に向き合い、郷土愛を醸成する教育の推進	A 6 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 〈児童・教職員アンケート 80%〉	① 外国語活動・外国語において、英語によるコミュニケーションの場を意図的に設定し、より効果的にコミュニケーションが図れるような支援により、外国語活動の一層の充実を図る。 ② ALT との授業内容等の打ち合わせを充実させ、発達段階に応じたきめ細かな支援に生かす。	【達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td><td>81.9</td><td>81.0</td><td>+0.9</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>90.6</td><td>94.3</td><td>+3.7</td></tr> </tbody> </table> 【次年度の方針】 ・外国語活動・外国語において、外国語指導助手と連携を図りながら、英語を使って一人一人が楽しくコミュニケーションがとれるような活動の場を増やしていく。発達段階に応じたきめ細やかな支援を充実させる。		R5	R6	比較	児童	81.9	81.0	+0.9	教職員	90.6	94.3	+3.7
	R5	R6	比較												
児童	81.9	81.0	+0.9												
教職員	90.6	94.3	+3.7												
	A 7 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① <u>生活科や社会科、総合的な学習等において、国本地区や宇都宮市について学習する機会をとらえ、その「よさ」について考える活動を意図的に設定する。</u> ② 図書やパンフレット、インターネットなどから宇都宮学に関する資料や情報を収集し、自分の住んでいる地域や宇都宮市について触れる機会を増やして、その良さについて考える活動を設定する。	【達成状況】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>児童</td><td>85.2</td><td>85.3</td><td>+0.1</td></tr> </tbody> </table> 【次年度の方針】 ・生活科や社会科、外国語・総合的な学習の時間等、教科横断的な学びとし、国本地区や宇都宮市について学習の機会を捉え、その「よさ」について考える活動を充実させていく。 ・宇都宮学等の資料を掲示し、児童が自分の住んでいる地域や宇都宮市の様子を知る機会を増やせるようにする。		R5	R6	比較	児童	85.2	85.3	+0.1				
	R5	R6	比較												
児童	85.2	85.3	+0.1												

2- (2) 情報社会と 科学技術の 進展に対応 した教育の 推進	A 8 児童は、デジタル機器 や図書等を学習に活用し ている。 【数値指標】 〈児童アンケート 80%〉	① 各学習活動において、ICT 機器や 図書を活用することが有効な場面 について、さらなる検証を行い、よ り効果的な活用を行うことで授業 の充実を図る。	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr> <tr><td>児童</td><td>89.4</td><td>87.6</td><td>-1.8</td></tr> </table> 【次年度の方針】 B ・教職員が1人1台端末や図書等の活用について、職員研修等で研鑽を深める。 ・ICT支援員や司書教諭と連携を図りながらデジタル機器や図書等を活用した授業の充実を図る。		R5	R6	比較	児童	89.4	87.6	-1.8				
	R5	R6	比較												
児童	89.4	87.6	-1.8												
2- (3) 持続可能な 社会の実現 に向けた担 い手を育む 教育の推進	A 9 児童は、「持続可能な社会」について、関心をも っている。 【数値指標】 〈児童・教職員アンケート 80%〉	① 各教科・領域において個々のテーマについて別々に実施していた学習を、「持続可能な開発のための教育」(以下 ESD) の視点で統合的に再構築する。 ② 各学習における、環境問題やエネルギー問題、国際理解、防災等にかかわる活動の場面をとらえ、日常生活と地球の課題との間につながりがあることが認識できるよう、児童に働きかけるなど、教職員が ESD を意識して日々の教育活動を実践する。	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr> <tr><td>児童</td><td>89.2</td><td>89.0</td><td>-0.2</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>68.8</td><td>71.4</td><td>+2.6</td></tr> </table> 【次年度の方針】 B ・係、委員会活動や社会科や総合的な学習の時間等の授業において、「持続可能な社会」との関連を意識できるよう、教職員が児童に働きかけるなど、SDGs 教育を意識しながら日々の教育活動を実践していく。		R5	R6	比較	児童	89.2	89.0	-0.2	教職員	68.8	71.4	+2.6
	R5	R6	比較												
児童	89.2	89.0	-0.2												
教職員	68.8	71.4	+2.6												
3- (1) インクルー シブ教育シ ステムの充 実に向けた 特別支援教 育の推進	A10 教職員は、特別な支援 を必要とする児童の実態 に応じて、適切な支援を している。 【数値指標】 〈教職員アンケート 80%〉	① 特別な支援が必要な児童生徒一人一人が自信と意欲をもって学校生活を送れることを目指し、かがやきルーム（特別支援教室）やゆうゆう教室（通級指導教室）の効果的な活用を行う。また、関連機関との連携により、多国籍化する外国人児童等への日本語指導を充実させる。 ② 「宇都宮市学校教育における合理的配慮に係る手引き」の活用等を行い、教職員研修の充実により、教職員の指導力を向上する。	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr> <tr><td>教職員</td><td>90.6</td><td>97.1</td><td>+6.5</td></tr> </table> 十分達成している。 【次年度の方針】 B ・今後も、担任一人が抱え込まず、組織的に対応できるよう、情報共有の場を頻繁に確保して、かがやきルームやゆうゆう教室を活用し、関係機関との連携を強化する。また、職員間の連絡・報告・相談を確実に行う。 ・特別支援教育に関する職員研修の充実を図る。		R5	R6	比較	教職員	90.6	97.1	+6.5				
	R5	R6	比較												
教職員	90.6	97.1	+6.5												
3- (2) いじめ・不 登校対策の 充実	A11 教職員は、いじめが許 されない行為であることを 指導している。 【数値指標】 〈児童・保護者アンケート 80%〉	① 「いじめゼロ強調月間」に「いじめゼロ集会」を設け、いじめ根絶に努めるとともに、朝の会、帰りの会、道徳の時間、学級活動などを通して継続的に指導する。 ② 児童一人一人が楽しく学校生活を送ることができるよう、児童との相談週間「おはなしタイム」(年2回 6月11月)を充実させる。 ③ 児童指導研修会(年3回)や特別支援委員会(年5回)の実施により、全職員による協力体制を強化し、児童が生き生きと学習や生活ができるように努める。	【達成状況】 <table border="1"> <tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr> <tr><td>児童</td><td>98.1</td><td>96.9</td><td>-1.2</td></tr> <tr><td>保護者</td><td>77.2</td><td>81.4</td><td>+4.2</td></tr> </table> 【次年度の方針】 B ・引き続き、いじめ問題に対して保護者と協力しながら、チームで対応していく。 ・効果的な集会活動等を工夫していく。 ・年2回の「おはなしタイム」だけではなく、気になる児童とは適宜教育相談を行っていく。 ・情報共有の場を活用し、全職員による協力体制を強化していく。		R5	R6	比較	児童	98.1	96.9	-1.2	保護者	77.2	81.4	+4.2
	R5	R6	比較												
児童	98.1	96.9	-1.2												
保護者	77.2	81.4	+4.2												

	A12 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 〈児童・保護者・教職員アンケート 80%〉	① 各学級において、日々の児童観察や、信頼関係の構築に加え、教育相談の充実を図り、児童一人一人に寄り添いながら個に応じた支援を行う。 ② ケース会議や不登校対策委員会により、不登校の予防や不登校傾向児への対応の充実を目指し、学校体制で不登校対策の強化に取り組む。	【達成状況】 <table> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>97.5</td><td>94.4</td><td>-3.1</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>84.4</td><td>91.3</td><td>+6.9</td></tr> <tr> <td>教職員</td><td>90.6</td><td>100</td><td>+9.4</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・引き続き、個に応じた支援や学校体制での取り組みをするとともに、保護者との信頼関係を密に構築していけるようにする。		R5	R6	比較	児童	97.5	94.4	-3.1	保護者	84.4	91.3	+6.9	教職員	90.6	100	+9.4
	R5	R6	比較																
児童	97.5	94.4	-3.1																
保護者	84.4	91.3	+6.9																
教職員	90.6	100	+9.4																
3- (3) 外国人児童生徒等への適応支援の充実 3- (4) 多様な教育的ニーズへの対応の強化	A13 学校は、一人一人が大切にされ、活気があり、明るくいきいきとした雰囲気である。 【数値指標】 〈児童・保護者アンケート 90%〉	① 学校行事や教育活動等に児童が意欲的・主体的に取り組めるよう、一人一人が活躍できる場や、多様な人と交流できる場を設定する。 ② なかよしタイム（業間）やふれあいタイム（昼休み）を活用した活動を充実させ、外遊びや縦割り班活動（GFT 活動）での遊びを充実させて、明るく楽しい学校をめざす。	【達成状況】 <table> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>95.0</td><td>94.8</td><td>-0.2</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>82.0</td><td>89.2</td><td>+7.2</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・仲良く、思いやりを持って活動できるよう外遊びのルールを確認したり、全学年が楽しめるよう GFT 活動を工夫したりしながら、遊びの充実を図る。 ・互いを大切にし、日々の学校生活を仲良く楽しく過ごそうという気持ちが高まるよう、児童主体でのふわふわ言葉を推奨する活動等を取り入れる ・学年だよりや学校 HP 等を活用し、児童がいきいきと活動する様子や頑張りを保護者や地域の方々への発信を強化していく。		R5	R6	比較	児童	95.0	94.8	-0.2	保護者	82.0	89.2	+7.2				
	R5	R6	比較																
児童	95.0	94.8	-0.2																
保護者	82.0	89.2	+7.2																
4- (1) 教職員の資質・能力の向上	A14 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 〈児童・保護者アンケート 90%〉	① 一人一人の学習意欲を高め、分かる喜びやできる喜びを味わえる授業の工夫・改善に努める。 ・授業のねらいの明確化 ・学習の振り返りの工夫 ・教材開発、教材研究 ・指導法の工夫 ② 児童一人一人の学習状況に応じたきめ細かな指導や効果的な支援体制に努める。 ・習熟度別学習や T T, 少人数指導 ・かがやきルームの有効活用 ③ 教師が互いに授業公開をし合っ ての検討や、要請訪問等の授業研究・研修等を通して、教職員の授業力の向上を図る。	【達成状況】 <table> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>97.5</td><td>95.2</td><td>-2.3</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>82.2</td><td>86.2</td><td>+4.0</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・分かる喜びが味わえる授業ができるよう、授業の工夫・改善に努める。 ・児童の実態を把握し、習熟度別学習や少人数指導等、個別最適な指導ができるよう効果的な支援体制を構築する。 ・教職員が一人一授業や要請訪問等を通して積極的に授業公開したり、自主的に研修会を開いたりするなどして、授業力の向上を図る。 ・朝の学習の時間を有効に活用し、基礎基本の定着を図る。		R5	R6	比較	児童	97.5	95.2	-2.3	保護者	82.2	86.2	+4.0				
	R5	R6	比較																
児童	97.5	95.2	-2.3																
保護者	82.2	86.2	+4.0																
4- (2) チーム力の向上	A15 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 〈教職員アンケート 90%〉	① 関係職員との協力が可能な内容や場面を明確にし、教職員が各スタッフの専門性を十分に活用できるようにする。 ② 各スタッフが参画するものについて、その意義を明らかにし、教育活動充実のために、より効果の上がる連携を模索し、充実した学習指導や教育活動が行えるよう工夫する。	【達成状況】 <table> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>教職員</td><td>90.6</td><td>100</td><td>+9.4</td></tr> </table> 十分達成している。 【次年度の方針】 ・引き続き、各スタッフの専門性を活かせる場面の開発及び明確化と、記録に残して引継ぎ、定着や改善工夫を図ることができるようなサイクルづくりを推進する。		R5	R6	比較	教職員	90.6	100	+9.4								
	R5	R6	比較																
教職員	90.6	100	+9.4																

4-(3) 学校における働き方改革の推進	A16 勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 ＜教職員アンケート 90%＞	① 学校行事の抜本的な見直しを行うとともに、本来学校が担うべき業務を明確にし、学校外の諸機関や保護者に対し、業務内容や勤務時間についての理解を得る働きかけを行って、業務を精選する。 ② 各種専門機関や地域等の学校支援の充実により、教職員が児童と向き合う時間を確保する。 ③ 時間調整を工夫し、職員間で必要な連携を図るための、打ち合わせ時間や作業時間等の確保に努める。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>教職員</td><td>90.6</td><td>94.3</td><td>+3.7</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・終わりの時間を決めること、さらなる業務を精選すること・チームで取り組むことで、教職員個々のタイムマネジメント力をさらに高め、業務効率化を進める。 ・放課後時間の有効活用や出退勤専用画面の効果的な活用により、勤務時間を意識し、ワークライフバランスの取れた働き方への意識改革を進めていく。		R5	R6	比較	教職員	90.6	94.3	+3.7								
	R5	R6	比較																
教職員	90.6	94.3	+3.7																
5-(1) 全市的な学校運営・教育活動の充実	A17 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ＜教職員・保護者アンケート 80%＞	① 交流授業を実施する。 ② 4校の教職員が協力して、小中学校において、一貫した保健指導や食育指導、読書指導等の取り組みを実施する。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>教職員</td><td>87.5</td><td>97.1</td><td>+9.6</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>68.1</td><td>77.2</td><td>+9.1</td></tr> </table> 十分達成している。 【次年度の方針】 ・引き続き、活動内容の充実・工夫に努め、開催方法を工夫して小中連携を図るとともに、活動の趣旨や成果を学校、地域、保護者が共有できるよう、情報発信に努める。		R5	R6	比較	教職員	87.5	97.1	+9.6	保護者	68.1	77.2	+9.1				
	R5	R6	比較																
教職員	87.5	97.1	+9.6																
保護者	68.1	77.2	+9.1																
5-(2) 主体性と独自性を生かした学校経営の推進 5-(3) 地域と連携・協働した学校づくりの推進	A18 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている。 【数値指標】 ＜児童・保護者・地域住民アンケート 80%＞	① 登下校時の自治会やPTA地区委員会の見守り、「こども110番の家」訪問の実施など地域との連携・協力を推進する。 ② 学校・家庭・地域の連携を行い、学習支援ボランティアによる学習支援を積極的に活用して、児童の学習活動の充実を図る。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>児童</td><td>90.0</td><td>90.5</td><td>+0.5</td></tr> <tr> <td>保護者</td><td>79.0</td><td>84.4</td><td>+14.5</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>95.5</td><td>84.6</td><td>-10.9</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・引き続き工夫して地域や企業等の教育力を活用する方法を開発し、よりよい児童の育成に取り組む。 ・地域との連携を密にし、学習支援ボランティアとの活動を広げ、活動の充実を図り、活動成果を積極的に発信できるよう努める。		R5	R6	比較	児童	90.0	90.5	+0.5	保護者	79.0	84.4	+14.5	地域住民	95.5	84.6	-10.9
	R5	R6	比較																
児童	90.0	90.5	+0.5																
保護者	79.0	84.4	+14.5																
地域住民	95.5	84.6	-10.9																
6-(1) 安全で快適な学校施設整備の推進	A19 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 ＜保護者・地域住民アンケート 80%＞	① 常に児童の安全に十分配慮して、校内環境の整備や維持を行う。 ② 毎月の安全点検を的確に行い、児童の安全な生活のために、迅速な補修・修繕を行う。	【達成状況】 <table border="1"> <tr> <th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr> <tr> <td>保護者</td><td>87.1</td><td>85.7</td><td>-1.4</td></tr> <tr> <td>地域住民</td><td>86.4</td><td>100</td><td>+13.6</td></tr> </table> 【次年度の方針】 ・各種便りや保護者との懇談においても、児童の成長について伝え、家庭との連携を深めていく。 ・児童と教員で一緒に校内の安全点検を行い、児童目線での安全確認を行うとともに、児童の安全に対する意欲を高めるようにする。 ・安全点検結果周知や補修・修繕依頼にICT機器を活用することで、より迅速に対応できるようにする。		R5	R6	比較	保護者	87.1	85.7	-1.4	地域住民	86.4	100	+13.6				
	R5	R6	比較																
保護者	87.1	85.7	-1.4																
地域住民	86.4	100	+13.6																

6-（2） 学校のデジタル化推進	A20 コンピュータなどのデジタル機器やネットワークの点から、授業（授業準備も含む）を行うための準備ができている。 【数値指標】 ＜教職員アンケート 80%＞	① 1人1台端末を始めとするICT機器の効果的活用により、主体的・対話的で深い学びを促進する授業づくりを行う。 ② 学校業務に積極的にデジタルを使うことができるよう教員間で情報交換を活発にする。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr><tr><td>教職員</td><td>90.6</td><td>94.3</td><td>+3.7</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・情報主任・学習指導主任を中心にデジタル機器を有効に活用し、また整備の充実を図り、できる方策を職員間で活発に情報交換をする。		R5	R6	比較	教職員	90.6	94.3	+3.7												
	R5	R6	比較																				
教職員	90.6	94.3	+3.7																				
小・中学校、地域学校共通、本校の特色・課題等	B1 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 ＜児童・保護者・教職員・地域住民アンケート 80%＞	① 児童・保護者・地域・教職員が協力し、時と場に応じたあいさつができる習慣づくりを目指す。 ② 地域学校園での合同あいさつ運動を実施し、明るいあいさつが実践できるようにする。 ③ 校内での指導を継続するとともに、 <u>家庭と地域が連携して指導に当たられるよう学校からの発信を工夫する。</u>	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.3</td><td>88.8</td><td>-2.5</td></tr><tr><td>保護者</td><td>76.6</td><td>81.4</td><td>+4.8</td></tr><tr><td>教職員</td><td>84.4</td><td>88.6</td><td>+4.2</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>77.6</td><td>84.6</td><td>+7.3</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・委員会等で児童が主体的に取り組める活動をしていく。 ・昨年度に引き続き、地域学校園での合同あいさつ運動を継続する。 ・学校の取り組みを学校便りやホームページで発信することで、地域や家庭への啓発をしていく。		R5	R6	比較	児童	91.3	88.8	-2.5	保護者	76.6	81.4	+4.8	教職員	84.4	88.6	+4.2	地域住民	77.6	84.6	+7.3
		R5	R6	比較																			
児童	91.3	88.8	-2.5																				
保護者	76.6	81.4	+4.8																				
教職員	84.4	88.6	+4.2																				
地域住民	77.6	84.6	+7.3																				
	B2 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 ＜児童・保護者・教職員アンケート 80%＞	① 「晃宝っ子の1日」をもとに、生活において守るべきルールを月生活目標として各教室に掲示する。約束の内容や意義を児童・保護者・職員が共有し、共通理解のもと指導にあたる。 ② 生活指導当番による校内巡視や、児童指導連絡会における児童の様子についての情報共有により、児童の実態把握に努める。共通理解に基づき全校体制による指導改善を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr><tr><td>児童</td><td>91.9</td><td>92.4</td><td>+0.5</td></tr><tr><td>保護者</td><td>87.3</td><td>90.0</td><td>+2.7</td></tr><tr><td>教職員</td><td>84.4</td><td>91.4</td><td>+7.0</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・昨年度に引き続き、生活指導当番による校内巡視等の取り組みを継続し、より一層の充実を図る。 ・年度途中でも必要に応じて、「晃宝っ子のきまり」を検討・見直しを行い、全職員で共通理解を図り、児童指導を行う。		R5	R6	比較	児童	91.9	92.4	+0.5	保護者	87.3	90.0	+2.7	教職員	84.4	91.4	+7.0				
	R5	R6	比較																				
児童	91.9	92.4	+0.5																				
保護者	87.3	90.0	+2.7																				
教職員	84.4	91.4	+7.0																				
地域連携	B3 学校行事やボランティア活動等、地域の人々や保護者と児童生徒が交流する機会がある。 【数値指標】 ＜児童・保護者・地域住民アンケート 80%＞	① PTA主催行事（晃宝祭等）や地域協議会主催行事（池そうじ等）への参加促進を図る。 ② 地域の団体主催事業（チャレンジウォーク、かるた大会、たこあげ大会等）への参加促進を通じ、交流事業の充実を図る。	B 【達成状況】 <table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>比較</td></tr><tr><td>児童</td><td>78.0</td><td>79.3</td><td>+1.3</td></tr><tr><td>保護者</td><td>75.9</td><td>80.4</td><td>+4.5</td></tr><tr><td>地域住民</td><td>90.0</td><td>92.3</td><td>+2.3</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・地域行事を周知する工夫をし、地域の教育力を活用する方法を開発し、特色ある教育活動の展開を図る。 ・奉仕作業を落ち葉掃きボランティアと合同で行うなど、児童と地域の方々ととの交流の機会を増やす。		R5	R6	比較	児童	78.0	79.3	+1.3	保護者	75.9	80.4	+4.5	地域住民	90.0	92.3	+2.3				
	R5	R6	比較																				
児童	78.0	79.3	+1.3																				
保護者	75.9	80.4	+4.5																				
地域住民	90.0	92.3	+2.3																				

家庭学習への取り組み	B 4 児童生徒は、自主的に家庭学習に取り組んでいる。 【数値指標】 〈児童・保護者アンケート 80%〉	① 宿題に対してや、自主学習ノートへのコメントを通して、児童の意欲喚起を図る。 ② 「学習のきまり」などで家庭学習の目安時間などを示すことによって目標を持たせる。	B	<table><tr><th colspan="4">【達成状況】</th></tr><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr><tr><td>児童</td><td>75.7</td><td>83.3</td><td>+7.6</td></tr><tr><td>保護者</td><td>59.3</td><td>67.1</td><td>+7.8</td></tr></table> 十分に達成している。 【次年度の方針】 ・家庭学習の方法を指導し、参考になる自主学習ノートを紹介するなどして、頑張っている児童を称賛することで意欲喚起を図る。また授業参観・個人懇談等で保護者への啓発を図る。	【達成状況】					R5	R6	比較	児童	75.7	83.3	+7.6	保護者	59.3	67.1	+7.8
【達成状況】																				
	R5	R6	比較																	
児童	75.7	83.3	+7.6																	
保護者	59.3	67.1	+7.8																	
健康体力	B 5 児童生徒は、自主的に自分の健康には注意をして生活している。 【数値指標】 〈児童・保護者アンケート 80 %〉	① 健康診断結果お知らせや、保健だより等により自分の健康に興味をもち、治療や日常的な運動の大切さの理解を深める。 ② なかよしタイム（業間）やふれあいタイム（昼休み）を活用した活動を充実させ、外遊びや縦割り班活動（GFT 活動）での遊びを楽しむことによって体力づくりにつなげる。	B	<table><tr><th colspan="4">【達成状況】</th></tr><tr><th></th><th>R5</th><th>R6</th><th>比較</th></tr><tr><td>児童</td><td>82.1</td><td>84.9</td><td>+2.8</td></tr><tr><td>保護者</td><td>56.9</td><td>59.2</td><td>+2.3</td></tr></table> 【次年度の方針】 ・休み時間に児童がさらに体を動かしたくなるような取り組みを実施したり、校庭の使い方のルールの見直しを行ったりする。 ・教員間の体育の実践を共有するなどして、児童の体力を高める指導を充実させる。	【達成状況】					R5	R6	比較	児童	82.1	84.9	+2.8	保護者	56.9	59.2	+2.3
【達成状況】																				
	R5	R6	比較																	
児童	82.1	84.9	+2.8																	
保護者	56.9	59.2	+2.3																	

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・全体的に見ても、多くの項目で昨年度を上回っているか同程度の評価となっている。特に、「思いやりの心をもっている」「きまりやマナーを守って生活している」「地域の人や保護者と児童が交流する機会がある」の項目については、児童・教職員・保護者・地域住民ともに昨年を上回っている。しかし、主体的に学習に取り組んでいるという項目については、児童の肯定的回答は9割を超えているが、教職員・保護者は低く、両者に大きな差が見られる。学力向上を目指すとともに、学習に向かう姿勢等にも指導を強化していく必要がある。
- ・児童の評価は、全ての項目で、昨年よりも下回る項目はあるものの、市平均と比べて同程度である。場面ごとのルールを守り、めあてをもって日々の学校生活を送ることができている表れであると考ええる。
- ・教職員の評価は、いじめや不登校対策に関する項目・業務の効率化に関する項目・同僚性やチーム意識に関する項目はほぼ100%と高い結果となった。一方、学習指導に関する項目では、昨年度や市平均より下回るものが見られた。授業力向上に向け、研修のさらなる充実を図っていきたい。
- ・保護者の評価は、いじめや不登校対策に関する項目が昨年を上回った。一方で、地域との連携に関する項目は昨年よりも上回ったものの、市平均と比べると大きく下回っている。また、学習や健康や安全に関する項目は、昨年・市平均よりも下回っている。ホームページの他に学年だよりに、活動の様子が伝わりやすい写真掲載を通して、学校での取り組みの様子を積極的に発信していく。

7 学校関係者評価

- ・子どもたちが以前よりあいさつを返してくれるようになった。
- ・落ち着いた雰囲気での学習している様子が見られた。ほとんどの児童が1人1台端末を使いこなしていた。
- ・ふわふわ言葉の活動がとても良い。校舎内の掲示が効果的である。地域協議会として、立て看板等を作って、この学校の取り組みを周知していきたい。
- ・学校での児童の様子をHPやさくら連絡網で配信されているので、もっと多くの保護者にも見てもらいたい。
- ・人間関係をうまく築けるように保護者や地域の大人が声掛けしていきたい。
- ・登校時や清掃時に上級生が下級生を気遣う様子がほほえましい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・児童の主体性や粘り強さに関する教職員や保護者の肯定的回答が昨年度を下回っている。各学力調査結果を踏まえて、教職員の授業力向上を図り、児童の学力の向上を目指していくことが必須である。また、目標をもち、児童一人一人が達成感を味わえるような場面を多く取り入れながら、様々な教育活動に取り組んでいく。
 - ・いじめや不登校対策等の学級経営に関わる項目の保護者や地域住民の肯定的回答が昨年度を上回った。教職員の指導にだけでなく、児童会を中心とした児童からの新たな取り組みが効果的だったのだと思われる。児童一人一人の真の幸せのために、学校行事の充実や教職員とのさらなる信頼関係の構築を通して、「明日も来なくなる楽しい学校！」の実現に向けて取り組む。
- 小中一貫教育に関する項目の肯定的回答が全評価者において昨年度を上回った。今後も、小中一貫教育に関する活動の意味や内容を丁寧に説明し、活動の様子の情報を積極的に発信していく。また、地域協議会のスローガン「みんなでつくる晃宝小」の実現に向け、地域の方々への感謝の気持ちや地域への愛着をもてるよう、折に触れて児童に伝えていく。